

HILTI

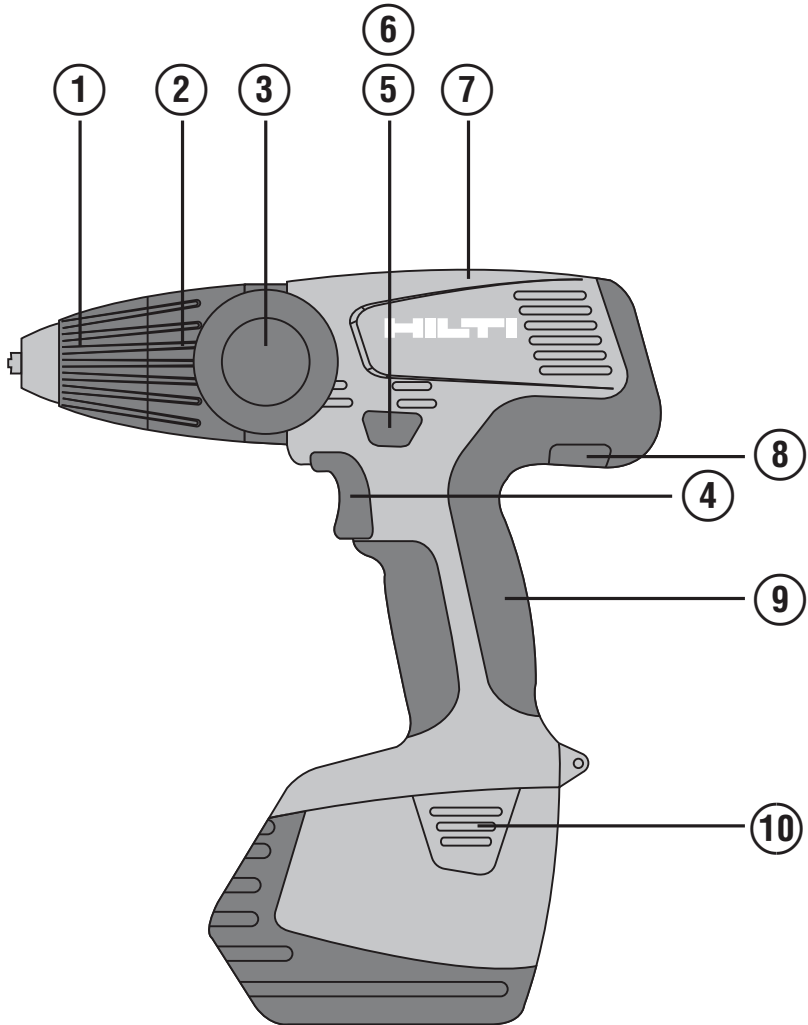
SF 151-A/ SFH 151-A

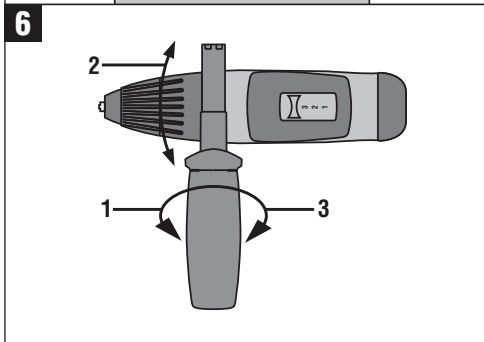
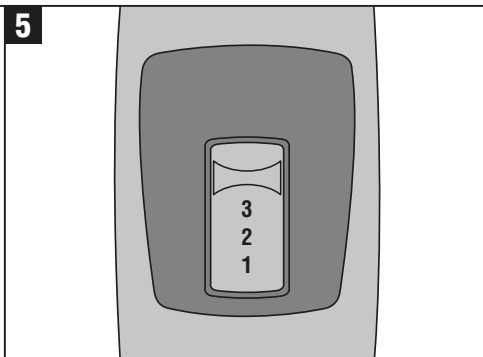
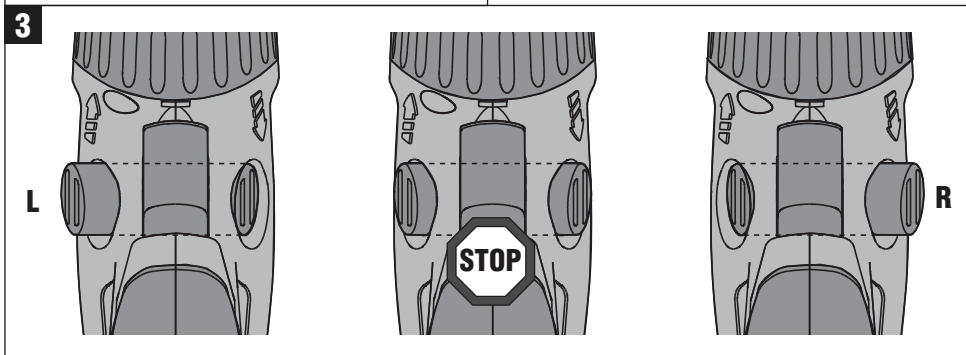
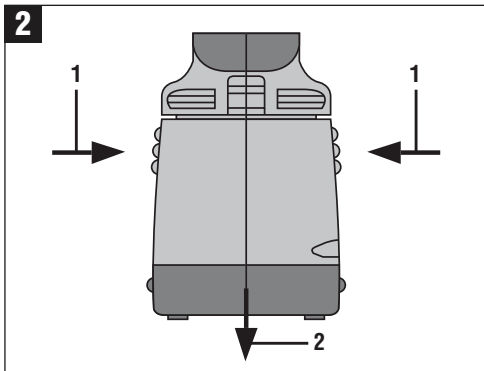
取扱説明書

ja



CE





オリジナル取扱説明書

SF 151-A / SFH 151-A 充電式ドリル / ドライバーまたは充電式ハンマードリル / ドライバー

ja

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず工具と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

目次	頁
1. 一般的な注意	1
2. 製品の説明	2
3. アクセサリー	3
4. 製品仕様	3
5. 安全上の注意	5
6. ご使用前に	8
7. ご使用方法	8
8. 手入れと保守	10
9. 故障かな? と思った時	11
10. 廃棄	12
11. 本体に関するメーカー保証	12
12. EU規格の準拠証明	13

■この数字は該当図を示しています。図は二つ折りの表紙の中にあります。取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。

本取扱説明書では、常に SF 151-A 充電式ドリル / ドライバーまたは SFH 151-A 充電式ハンマードリル / ドライバーを「本体」と呼びます。

各部名称 ■

- ① クイックリリースチャック
- ② トルクおよび機能の設定リング
- ③ サイドハンドル
- ④ 無段変速スイッチ（電子回転数コントロール装備）
- ⑤ 正逆回転スイッチ
- ⑥ モーターブレーキ
- ⑦ 2速または3速スイッチ
- ⑧ 銘板
- ⑨ グリップ
- ⑩ バッテリーリリースボタン（2箇所）

1. 一般的な注意

1.1 安全に関する表示とその意味

危険

この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

警告事項

この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

注意

この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

注意事項

この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号の説明と注意事項

警告表示



一般警告
事項



電気に関する
警告事項



高温に関する
警告事項



腐食に関する
警告事項

義務表示



保護メガネを
着用してくだ
さい



保護ヘル
メットを着用
してくださ
い



耳栓を着用
してくださ
い



保護手袋を
着用してく
ださい



粉じんの多
い作業にお
いては、
防じんマス
クを着用し
てください

略号



ご使用前
に取扱説明
書をお読み
ください



リサイク
ル規制部品
です



電圧



直流



無負荷回
転数



毎分回転数



回転 + 打撃



回転のみ

機種名・製造番号の表示箇所

機種名は銘板上、また製造番号はモーターハウジングの側面に表示されています。当データを御自身の取扱説明書にメモ書きしておき、お問い合わせなどの必要な場合に引用してください。

機種名： _____

製造番号： _____

2. 製品の説明

2.1 正しい使用

SF 151-A は、ネジの取付け、取外し、および鋼材と木材ならびに石材への穿孔（回転のみ）用の手持ち使用の充電式ドリル / ドライバーです。

SFH 151-A は、ネジの取付け、取外し、および鋼材と木材ならびに石材への穿孔（回転のみ）、およびコンクリート石材への打撃 + 回転用の手持ち使用の充電式ハンマードリル / ドライバーです。

健康を損なう恐れのある母材（アスベストなど）への加工は許されません。

本バッテリーパックを他の電気器具の電源用に使用しないでください。

本体の加工や改造は許されません。

けがの可能性を防ぐため、必ずヒルティ純正の、アクセサリーや先端工具のみを使用してください。

取扱説明書に記述されている使用、手入れ、保守に関する事項に留意してご使用ください。本体はプロ仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定、訓練され

た人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。本体および付属品の、使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外使用は危険です。

作業区域としては、建設現場、工場での改修・改築・新築工事などが考えられます。

2.2 チャック

クイックリリースチャック

2.3 スイッチ

無段変速スイッチ

機能切替スイッチ

正逆回転スイッチ

2.4 グリップ

デプスゲージ付き調整サイドハンドル

振動吸収グリップ

2.5 潤滑

オイル潤滑

2.6 本体標準セット構成品 (本体ケース版):

- 1 サイドハンドル付き本体
- 2 バッテリーパック SFB 150 または SFB 155
- 1 充電器
- 1 取扱説明書
- 1 本体ケース

2.7 本体標準セット構成品 (カートン梱包版):

- 1 サイドハンドル付き本体
- 1 取扱説明書

ja

3. アクセサリー

ビットアダプター	S-BH 50
充電器	SFC 7/18
充電器	SFC 7/18H
充電器	C7/24
充電器	TCU7/36
充電器	C7/36-ACS
バッテリーパック	SFB 150
バッテリーパック	SFB 155
チャック	クイックリリースチャック
クイックリリースチャックのクランプ直径	Ø 1.5... 13 mm
木材 (軟質) への穿孔直径	Ø 1.5... 30 mm
木材 (硬質) への穿孔直径	Ø 1.5... 26 mm
金属への穿孔	Ø 4... 13 mm
木ネジ (最大長さ 120 mm)	Ø 3.5... 8 mm
HUD アンカー (最大長さ 120 mm)	Ø 5... 10 mm

4. 製品仕様

技術データは予告なく変更されることがあります。

本体	SF 151-A	SFH 151-A
電圧 (直流電圧)	15.6 V	15.6 V
重量 (EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠)	2.7 kg	2.9 kg
本体寸法 (長 x 幅 x 高)	239 mm x 74 mm x 260 mm	264 mm x 74 mm x 263 mm
1 速の回転数	0... 390 /min	0... 370 /min
2 速の回転数	0... 1,455 /min	0... 1,380 /min
3 速の回転数		0... 2,000 /min

本体	SF 151-A	SFH 151-A
トルク設定マーク (軟材質ネジ用)	Max. 33 Nm	Max. 33 Nm
トルク設定マーク (硬材質ネジ用)	Max. 70 Nm	Max. 70 Nm
トルク設定 (15 ステップ)	2... 12 Nm	2... 12 Nm
全負荷打撃数		36,000 /min
レンガおよび石材への回転 + 打撃 (最大長さ 80 mm)		Ø 1.5... 6 mm

注意事項

本説明書に記載されている振動レベルは、EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。振動負荷の暫定的な予測にも適しています。記載されている振動レベルは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、振動レベルが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。振動負荷を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。作業者を振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください (例：電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、手を冷やさないようにする、作業手順の計画を立てるなど)。

騒音 / 振動について (EN 60745) :

SF 151-A のサウンドパワーレベル	88 dB (A)
SFH 151-A のサウンドパワーレベル	104 dB (A)
SF 151-A のサウンドプレッシャーレベル	77 dB (A)
SFH 151-A のサウンドプレッシャーレベル	93 dB (A)

EN 60745 準拠の追加情報

3 軸の振動値 (振動ベクトル合計)	EN 60745-2-2 に準拠
留付け (打撃なし)、 a_h	< 2.5 m/s ²
不確実性 (K)	1.5 m/s ²

EN 60745 準拠の追加情報

3 軸の振動値 (振動ベクトル合計)	EN 60745-2-1 に準拠
コンクリートへの回転 + 打撃、 $a_{h,D}$	11.8 m/s ²
金属への穴明け、 $a_{h,D}$	< 2.5 m/s ²
3 軸の振動測定の不確実性 (K)	1.5 m/s ²

バッテリーパック	SFB 150	SFB 155
電圧	15.6 V	15.6 V
容量	2 Ah	3 Ah
バッテリー容量	31.2 Wh	46.8 Wh
重量	0.94 kg	0.96 kg
温度モニター	あり	あり

バッテリーパック	SFB 150	SFB 155
セルの種類	ニッケル - カドミウム構成 SUB C	ニッケル - 金属水素構成 SUB C
セルブロック数	13 個	13 個

5. 安全上の注意

注意事項

5.1 に記載された安全上の注意事項は、電動工具に関する全ての基本的な安全情報を含んでいます。5.1.2a、5.1.2d、5.1.2e、5.1.3c および 5.1.4c に記載された注意事項は、この取扱説明書で説明する機器には関係ありません。

5.1 一般安全注意事項

注意！ 注意事項のすべてをよくお読みください。注意事項に従わない場合、感電、火災、重度のけがをまねく恐れがあります。以下の事項内で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。安全ガイドを大切に保管してください。

5.1.1 作業場の安全確保

- 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では本体を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。
- 電動工具の使用、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそざれると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

5.1.2 電気に関する安全注意事項

- 本体の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした本体と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。
- パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が

触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。

- 本体を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- 本体を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、ケーブルを持ったリ引引っ張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- 屋外工事の場合には、認可マーク付きの専用延長コードのみを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。

5.1.3 作業者に関する安全

- 電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には本体を使用しないでください。本体使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- 作業保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの作業保護具を使用してください。
- 電動工具の不意な始動は避けてください。電源プラグをコンセントに接続する前に、オン/オフスイッチが「オフ」の状態にあることを必ず確認してください。オン/オフスイッチが入っている状態で本体のスイッチに指を掛けたまま運んだり、電源に接続したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。

- い。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- e) 慎重な作業を行ってください。足を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- f) 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- g) 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

5.1.4 電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- a) 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。
- b) スイッチに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- c) 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、本体からバッテリーパックを取り出してください。この安全処置により、本体の不意の始動を防止することができます。
- d) 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- e) 電動工具のお手入れは慎重におこなってください。本体の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、本体の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。

- f) 先端工具をきれいに保ってください。お手入れのゆぎとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- g) 本説明書内の指示に従うとともに、各形式に合った電動工具、アクセサリー、先端工具を使用してください。この際、作業環境および用途に関してよくご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

5.1.5 バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

- a) バッテリーを装着する前に、本体のスイッチがオフになっていることを確認してください。スイッチがオンになっている電動工具にバッテリーを装着すると、事故が発生する恐れがあります。
- b) バッテリーを充電する場合は、必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
- c) 指定されたバッテリーのみを電動工具に使用してください。指定以外のバッテリーを使用すると、負傷や火災の恐れがあります。
- d) 使用しないバッテリーの近くに、事務用クリップ、硬貨、キー、釘、ネジ、その他の小さな金属片を置かないでください。電気接点の短絡が起こることがあります。バッテリーの電気接点間が短絡すると、火傷や火災が発生する危険があります。
- e) バッテリーが正常でないと、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。もしも触れてしまった場合は、水で洗い流してください。液体が眼に入った場合は、水で洗い流してから医師の診察を受けてください。流出したバッテリー液により、皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。

5.1.6 サービス

- a) 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性維持が確実にこなわれます。

5.2 その他の安全上の注意

5.2.1 作業者に関する安全

- a) ハンマードリルを使用する際は耳栓を着用してください。騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
- b) 本体に付属の補助ハンドルを使用してください。これ以外のハンドルを使用すると、コントロールを失って怪我をする恐れがあります。
- c) 本体は必ず両手でグリップを掴んで確実に保持してください。グリップ表面は乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。
- d) 本体に集じん装置を取り付けずに作業をする場合、作業される方は防じんマスクを着用しなければなりません。
- e) 休憩を取って緊張をほぐし、指を動かして血の巡りを良くするように心がけてください。
- f) 回転部分には手を触れないでください。本体の電源は必ず作業場で入れてください。回転部分、特に回転している先端工具は負傷の原因となります。
- g) 本体は、子供や体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。
- h) 本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。
- i) 含鉛塗料、特定の種類の木材、鉱物、金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。作業者や近くにいる人々が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシやブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、木材保護剤）が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が処理を行うようにしてください。できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効果を高めるには、当電動工具に適したヒルティ推奨の木材 / 鉱物粉じん用移動式集じん機を使用してください。作業場の換気に十分配慮してください。フィルタークラス P2 の防じんマスクの着用をお勧めします。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。

5.2.2 電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- a) 作業材料を固定します。作業材料を締め付ける時は、クランプあるいは万力を使用してください。この方が手で押さえるよりも確実であり、本体を両手で自由に操作することができます。
- b) 使用する先端工具がチャック機構に適合し、チャック内にしっかりと固定されていることを確認してください。
- c) 埋設された電線または電源コードが先端工具で損傷する恐れがある場合は、本体の絶縁されたグリップを保持して作業してください。電流の流れている電線に触れると、本体の絶縁されていない金属部分が通電され、作業者が感電する危険があります。

5.2.3 電気に関する安全注意事項



作業を開始する前に、作業場に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。例えば、作業中に誤って先端工具が電線に触れると、本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。この場合、感電による重大な事故が発生する危険があります。

5.2.4 作業場の安全確保

- a) 作業場の採光に十分配慮してください。
- b) 作業場の換気に十分配慮してください。作業場の換気が十分でない、粉じんによる汚染で健康が害される恐れがあります。

5.2.5 個人保護用具



本体使用中、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、保護ヘルメット、耳栓、保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。

6. ご使用前に



ja

6.1 バッテリーパックの慎重な取扱い

注意事項

低温ではバッテリーパックの力が低下します。バッテリーの充電量が少なくなった場合は、本体が完全に停止するまで作業を続けしないでください。予備のバッテリーと交換してください。効率が落ちたバッテリーパックは、交換後速やかに充電してください。

バッテリーパックを使用しない場合は、できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。バッテリーパックを太陽の直射下、ラジエーターの上、窓際等で保管しないでください。寿命となったバッテリーの廃棄は、リサイクル規制により定められた方法で確実に行ってください。

6.2 バッテリーパックの充電



注意

必ずヒルティバッテリーパック SFB 150 および SFB 155 を使用してください。

6.2.1 バッテリーパックの初充電

セルを確実に初充電するため、新しいバッテリーパックの場合は、使用前に必ず十分に充電してください。十分に充電しておかないと、バッテリー容量に影響を及ぼすことがあります。初充電に関しては当該充電器の取扱説明書を参照してください。

6.2.2 使用されたバッテリーパックの充電

注意

必ず「アクセサリ」の項に記載のヒルティ充電器を使用してください。

バッテリーパックを充電器にセットする前に、バッテリーパックの表面の汚れを落とし、乾かしてください。充電方法については、充電器の取扱説明書を参照してください。

6.2.2.1 NiCd および NiMH バッテリーパックの再充電

NiCd および NiMH バッテリーパックは必ず毎回フル充電してください。

6.3 バッテリーパックの装着

注意

バッテリーパックを装着する前に、本体のスイッチがオフになっていてスイッチオンロックが作動していること（正逆回転スイッチを中立の位置にします）を確認してください。必ず本体用に許可されたヒルティバッテリーパックを使用してください。

1. バッテリーパックを本体の下部にあてがいつながら、カチツと音がするまで挿入します。
2. **注意**バッテリーパックが落下して怪我をする恐れがあります。バッテリーパックが本体にしっかりと固定されていることを確認してください。

6.4 バッテリーパックの取外し 2

1. 両側のリリースボタンを押します。
2. バッテリーパックを本体から下方へ引き抜きます。

7. ご使用方法

7.1 正逆回転の設定 3

注意事項

正逆回転スイッチを使用することにより、先端工具スピンドルの回転方向（正回転、逆回転）を選択することができます。モーター回転中はロック機能により、スイッチの切替ができなくなります。中立の位置では、コントロールスイッチはブロックされます。正逆回

転スイッチを右に押します（本体の動作方向）、これにより正回転が有効になります。正逆回転スイッチを左に押します（本体の動作方向）、これにより逆回転が有効になります。

7.2 回転数選択

7.2.1 2速スイッチによる回転数の選択 (SF 151-A) 4

注意事項

機械式 2 速スイッチにより全負荷回転数を選択します。バッテリーパックが満充電されている場合の全負荷回転数。1 速：0～390 rpm または 2 速：0～1455 rpm。

7.2.2 3速スイッチによる回転数の選択 (SFH 151-A) 5

注意事項

機械式 3 速スイッチにより全負荷回転数を選択します。バッテリーパックが満充電されている場合の全負荷回転数。1 速：0～370 rpm、2 速：0～1380 rpm または 3 速：0～2000 rpm。

7.3 スwitchのオン / オフ

注意

モーターが遮断され 2～3 秒以上停止した場合は、故障防止のため本体のスイッチを切ってください。停止後は、本体を 2 分間負荷なしで回転させてください。

コントロールスイッチをゆっくり押すことにより、回転数をゼロから最高まで無段階調整することができます。

7.4 穿孔

注意

ドリルビットが噛むと、本体はサイドに振られます。本体は必ずサイドハンドルを付けて使用し、本体を両手で確実に保持してください。

注意

作業材料を締め付ける時は、クランプあるいは万力を使用してください。この方が手で押さえるよりも確実であり、本体を両手で自由に操作することができます。

7.4.1 サイドハンドルの調整 6

1. サイドハンドルのグリップを反時計方向に回して、サイドハンドルのクランピングバンドを緩めます。
2. サイドハンドルをご希望の位置に回します。
3. サイドハンドルのグリップを時計方向に回して、しっかりと固定します。

7.4.2 ドリルビットの装着

1. 正逆回転スイッチを中立位置にするか、またはバッテリーパックを本体から取外します。
2. 先端工具のコネクションエンドが汚れていないか点検します。必要であれば、コネクションエンドの汚れを取り除きます。
3. 先端工具をチャックへ装着し、クイックリリースチャックをしっかりと回します。
4. 先端工具を引っ張り、しっかりと固定されているか確認します。

7.4.3 穿孔 (回転のみ)

1. 正逆回転スイッチを正回転に合わせます。
2. トルクおよび機能の設定リングを「回転のみ」の印に合わせます。

7.4.4 ドリルビットの取外し

注意

先端工具は使用することで熱くなるので、先端工具の交換時には保護手袋を着用してください。

1. 正逆回転スイッチを中立位置にするか、またはバッテリーパックを本体から取外します。
2. クイックリリースチャックを開きます。
3. 先端工具をチャックから引き抜いてください。

7.5 回転 + 打撃 (SFH 151-A)

7.5.1 ドリルビットの装着

1. 正逆回転スイッチを中立位置にするか、またはバッテリーパックを本体から取外します。
2. 先端工具のコネクションエンドが汚れていないか点検します。必要であれば、コネクションエンドの汚れを取り除きます。
3. 先端工具をチャックへ装着し、クイックリリースチャックをしっかりと回します。
4. 先端工具を引っ張り、しっかりと固定されているか確認します。

7.5.2 回転 + 打撃

注意

このような場合には、サイドハンドルを使用して、両手で本体のグリップとサイドハンドルを保持してください。

1. 正逆回転スイッチを正回転に合わせます。

- トルクおよび機能の設定リングを「回転 + 打撃」の印に合わせます。

7.5.3 ドリルビットの取外し

注意

先端工具は使用することで熱くなるので、先端工具の交換時には保護手袋を着用してください。

- 正逆回転スイッチを中立位置にするか、またはバッテリーパックを本体から取外します。
- クイックリリースチャックを開きます。
- 先端工具をチャックから引き抜いてください。

7.6 留付け

7.6.1 ビット / ビットアダプターの装着

- 正逆回転スイッチを中立位置にするか、またはバッテリーパックを本体から取外します。

- ビットアダプターをチャックに取り付けます。
- ビットをビットアダプターに取り付けます。

7.6.2 留付け

- 正逆回転スイッチを希望の方向に選択します。
- トルクおよび機能の設定リングでトルクを選択します。

7.6.3 ビット / ビットアダプターの取外し

- 正逆回転スイッチを中立位置にするか、またはバッテリーパックを本体から取外します。
- ビットをビットアダプターから取り外します。
- ビットアダプターをチャックから取り外します。

8. 手入れと保守

注意

本体が不意に始動することがないように、清掃作業を始める前にバッテリーパックを取り外してください。

8.1 先端工具の手入れ

先端工具の表面に付着した汚れを取り除きます。時折、油を染みこませた布で表面を磨いて腐食から守ってください。

8.2 本体の手入れ

注意

本体、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着していないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

本体の外側ボディは、耐衝撃性プラスチックで作られています。グリップ部分は合成ゴムを使用しています。

通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。本体内部に異物が入らないようにしてください。定期的に、少し湿した布で本体表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などに

よる清掃は避けてください。電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

8.3 保守

警告事項

本体の電気系統部分の修理は訓練された修理スペシャリストのみができます。

本体の全ての表面パーツに損傷がないか、また全ての装置が支障なく作動するか確認してください。パーツが損傷していたり、装置が正しく作動しない場合は、本体を使用しないでください。修理が必要な際は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

8.4 バッテリーパックの手入れ

バッテリー端子に付着した埃や油を取り除いてください。必要に応じて、バッテリー端子をきれいな布で清掃します。バッテリーパックが完全に消耗するまで使用すると、セルに損傷を与える恐れがあります。本体の出力が落ち始めた場合は、バッテリーパックを充電する必要があります。月に一回またはバッテリー容量が著しく低下した場合は、コン

ディショニング充電を行ってください。ヒルティ充電器 C 7/24、SFC 7/18、SFC 7/18H、TCU 7/36 で充電する場合は、バッテリーパックを通常は 24 時間以上、コンディショニングモードで 12 時間以上充電してください。C 7/36-ACS 充電器では、初充電を行うかあるいは通常モードによる充電を行うかが自動検

知されます。コンディショニング充電でも希望の出力が得られない場合は、ヒルティの診断を受けられることをお勧めいたします。

8.5 手入れと保守を行った後の点検

手入れ、保守の作業を済ませた後は、全ての安全機構が装着され、正常に作動していることを確認しなければなりません。

ja

9. 故障かな？ と思った時

症状	考えられる原因	処置
本体が始動しない。	バッテリーパックが正しくロックされていないか、あるいはバッテリーパックの放電。 電氣的故障。	バッテリーパックをカチッカチツとロック音がするまで挿入するか、あるいはバッテリーパックを充電する。 本体からバッテリーパックを取り外し、ヒルティサービスセンターに連絡する。
打撃がない。	トルクおよび機能の設定リングを点検する。	トルクおよび機能の設定リングを「打撃 + 回転」の印に合わせる。
オン / オフスイッチが押せない、あるいは動かない。	正逆回転スイッチは中立位置 (トランスポートロック位置)	正逆回転スイッチを左または右へ押す。
回転数が突然落ちる。	バッテリーパックの放電。	バッテリーパックを交換し、空のバッテリーパックを充電する。
バッテリーパックの消耗が通常よりも早い。	バッテリーパックの状態が好ましくない。	ヒルティサービスセンターで診断するか、またはバッテリーパックを交換する。
バッテリーパックが「カチッカチツ」と音がするままでロックされない	バッテリーパックのロックノッチが汚れている。	ロックノッチを清掃して、バッテリーパックをロックする。問題が再発する場合は、ヒルティサービスセンターに連絡する。
本体あるいはバッテリーパックが熱くなる。	電氣的故障 本体に負荷がかかり過ぎている (適用基準を超えている)。	本体の電源を直ぐに切ってバッテリーパックを取り外し、ヒルティサービスセンターに連絡する。 用途に合った工具を選択する。

10. 廃棄

注意

装備を誤った方法で廃棄すると、次のような危険があります：プラスチック部分の燃焼時には人体に有害な有毒ガスが発生します。電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、毒害、火傷、腐食または環境汚染の危険があります。廃棄について十分な注意を払わないと、権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。このような場合、ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。

注意

故障したバッテリーパックはただちに廃棄してください。バッテリーパックは子供の手の届かない所に置いてください。バッテリーパックを分解したり、燃やしたりしないでください。

注意

バッテリーは、各国の規制に従って廃棄してください。



本体の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。



EU 諸国のみ

本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

古い電気および電子工具の廃棄に関するヨーロッパ基準 2002/96/EG と各国の法律に基づき、使用済みの電動工具は一般ゴミとは別にして、環境保護のためリサイクル規制部品として廃棄してください。

11. 本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、製造上欠陥がないことを保証します。この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、取り扱いおよび清掃、保守が正しく行われていること、ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。このことは、ヒルティ純正の、消耗品、付属品、修理部品のみを本体に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、本体のライフタイム期間内における欠陥部品の無償の修理サービスまたは部品交換に限られます。通常の摩耗の結果として必要となる修理、部品交換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、拘束力のある国内規則がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一

切排除されます。とりわけ、ヒルティは、本体の使用目的の如何に関わらず、使用した若しくは使用できなかったことに関して、またはそのことを理由として生じた直接的、間接的、付随的、結果的な損害、損失または費用について責任を負いません。市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、保証に関するヒルティの全責任であり、保証に関するその他の説明、または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。

12. EU 規格の準拠証明

名称 :	充電式ドリル / ドライバー または充電式ハンマードリル / ドライバー
機種名 :	SF 151-A / SFH 151-A
設計年 :	2004

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します : 2009 年 12 月 28 日まで 98/37/EG、2009 年 12 月 29 日以降 2006/42/EG、2004/108/EG、2006/66/EG、

EN 60745-1、EN 60745-2-1、EN 60745-2-2、EN 55014-1、EN 55014-2、EN 61000-6-3.

Hilti Corporation



Dietmar Sartor
Head of BA Quality and Process
Management
Business Area Electric Tools &
Accessories
10 2009



Roman Haeggi
Senior Vice President

Business Unit
Cordless and Cutting
10 2009

ja

HILTI

Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423 / 234 21 11

Fax: +423 / 234 29 65

www.hilti.com



227961